



第1176号
2010年9月5日発行
日本聖公会東京教区
港区芝公園3-6-18
編集人 英 久子

WEB: <http://www.nskk.org/tokyo/index.htm> E-MAIL: comm.tko@nsk.org
Phone: 03-3433-0987, Fax: 03-3433-8678 Diocese Office

司祭 フランシス 白井三繁
東京教区退職司祭。8月22日逝去、84歳。同師のご希望によりご遺体は大学病院へ献体され、葬送式はご遺骨返還後に。51年聖公会神学院卒業、54年司祭叙任。聖救主教会牧師、教区事務所主事、聖パトリック・神愛各教会、池袋聖公会牧師を歴任。その間、渋谷本町キリスト、八王子復活各教会管理牧師、聖マーガレット、聖公会八王子、神愛各幼稚園チャプレンを務められた。91年休職、92年12月退職。召された魂のうえに主の平安がありますように。

◇9月の代祷・信施奉献先
▽わかちあい募金のため▽山谷兄弟の家伝道所まりや食堂の働きのため▽聖公会野宿者支援活動・渋谷の働きのため▽心臓病

先日夏の休暇をいただき神戸に行きました。ここ数年來、毎夏に六甲山山頂から夜景を眺めています。その景色は日本三大夜景の一つに数えられているだけに、とても感動的です。函館や長崎同様、その美しさに共通することは光と闇との対照です。神戸は海と山とが接近し、その間に街が帯状に広がっているために、六甲からの夜景は、海の黒さと街の明るさと山の暗さが見事に調和しています。その上、海が湾となつて大阪をも見渡すことができ、弧を描く湾の淵に街の光が点在して見えるところに、その美しさを引き立てる理由があります。

一転して夜空を眺めると、東京では見ることが出来ないほどの星々を数えることが

《み手のなかで》

牧師の休暇って

司祭 加藤 俊彦

できます。地上の光を手で遮りながら上空を見続けていると、次第次第に目が闇に慣れてきて、それまで見えなかった小さな星が見えるようになります。すると天上には満点の星がまたいたいたことに気づき、感動を覚えます。

そのような自然の光景は、光そのものが明るく美しいのではなく、闇が深いからこそ光が見えてくる、暗さが増すからこそ、その輝きが明るく美しいということを感じてくれます。暗闇の中で光を放つのが信仰者であり教会です。その輝きにこそ人びとは美しさを見出し、感動を覚えるのだと思います。牧師の休暇は、感じたり感動したり涙したりすることができるといふことのないように、との警告がもしありません。

(目白聖公会牧師)

今週・来週の予定

9月5日～18日

- 5(日) 聖霊降臨後第15主日
- 6(月) 聖職養成委員会
教区費分担金制度検討特別委員会
- 8(水) 礼拝音楽委員会
- 9(木) 教役者待遇調査委員会
財政委員会
山手G牧師協議会
- 10(金) 広報委員会
外濠G牧師協議会
- 12(日) 聖霊降臨後第16主日
- 14(火) 小平墓地委員会
常置委員会
- 15(水) 教役者レクイエム
- 16(木) 城南G牧師協議会
環状G牧師協議会
- 17(金) エルサレム教区協働委員会

児保育活動のため
▽東京聖テモテ教会唱詠夕の礼拝 5日(本日)17時。関西学院大学聖歌隊による伝統的聖公会夕の礼拝。礼拝後は水野隆一指揮・同混声合唱団のミニコンサート。照会〓同教会。

▽オルガンが誘う黙想のつどい 11日(土)17時、聖路加国際病院礼拝堂。奏楽〓伊藤純子・小野田良子。教会とお寺を巡るパイプオルガンコンサート「築地風琴会・平和を願うつどい」。共同開催会場はカトリック築地教会15時半、築地本願寺18時半。無料(会場献金)。

▽9月ランチタイム・オルガンコンサート *聖、パウロ〓10日(金)、山田由希子 *神田キリスト〓15日(水)、飯沼彩 *聖テモテ〓21日(火)、荻野由美子 各12時20分から30分程度、入場無料。

《掲載記事転用の場合は事前連絡のこと》

日韓合同主教会

主教 植田仁太郎

もう2カ月前になりますが、日本聖公会の定例主教会を開催する日程に合わせて、大韓聖公会の主教達との合同会議をすることになりました(6月28日)。韓国の主教様方とは、双方の新主教誕生の折など、共に礼拝をしたり対話をするチャンスは結構多いのですが、公式に会議をして意見交換や共同の決議をするのは、2004年以来です。

今回は、その合同の会議を済州(チェジュ)島で行うことになり、日本の主教全員が成田と関空から直接島に渡りました。済州の人々は、日本の植民地時代、太平

洋戦争時代に多くの苦難を被りましたし、韓国解放後の一時期、朝鮮半島分断という現実の中で生まれたばかりの、韓国政府によって厳しい弾圧を受け、何千人もの人々が虐殺されるという歴史を経験しました。

聖公会の伝道は7年前に開始、今では大きな倉庫を改造した礼拝堂に数十人が集まっています。

2004年の合同主教会で合意された、大韓聖公会から宣教協働者(宣教師)を日本聖公会に派遣していたたく事業が、6年を経る中で実現し、今、ひと区切りを迎えようとしています。7つの教区で、10人の「宣

教師」が、この合意のもとで働いて下さっています。これに教区間の協力事業で来て下さっている方、さらに、すでに日本聖公会に移籍されている方々を加えますと、総計18名の大韓聖公会出身の聖職が、日本聖公会で働いて下さっています。

当然のことながら、この事業と働きについて、日本の主教達から、大韓聖公会に感謝の意が表明され、韓国の聖職方とご家族が一層スムーズに生活と働きができるよう、日本に赴任するに当たっての条件等を、両教会で今後も協議してゆくこととなりました。

合同会議でもう1つ合意されたことは、2007年に朝鮮半島の和解と統一を目指して、大韓聖公

《掲載記事転用の場合は事前連絡のこと》

会の主導で開催された世界聖公会平和大会の、その第2回目の大会を、今度は日韓両聖公会の協力のもとに、来年沖縄で開催されることになりました。

その他、今後両聖公会はアジア・アフリカの聖公会との協働を目指し、さまざまな分野で学び合い協力してゆけるであろう、との希望が語り合われました。

東京教区でも、すでに6人の大韓聖公会出身の聖職が働いて下さいます。韓国の聖公会の人々の熱い祈りと協力があって、私たちの教会の活動が支えられていることを、憶えていただきたいと思います。

常置委員会報告(8月4日)

(東京教区主教)

* 司祭按手式前日リトリート指

導は東北教区前主教佐藤忠男師父、など主教報告。

* 倉澤一太郎聖職候補生の聖職志願適当と認め手続促進を確認。

* 8月29日卓志雄司祭牧師任命式、7月度財務諸表、月島聖ルカ保育園の社会福祉法人移管に関する財産引継など、主教チャプラン、各主事らの諸報告了承。

* 教区合同堅信式10月30日(土)

* 臨時教区会(主教選挙) 11月3日(水・休)

* 定期教区会11月20日(土)

* 教区企画室委員の任期を10年12月31日と確認。その後の活動については新主教の選出後に検討。

* 正義と平和協議会提出、貧困問題を考えるプロジェクトチーム設置の件了承(期間2年) リーダーに李民洙司祭を委嘱。

* 中村淳執事管区宣教主事就任に伴い教財務サ委員長を解任。

* その他

正義と平和協議会

運営委員会報告(7月23日)

* 7月17日協議会で審議した運営委員会規定改正は秋の定期教区会で「施行規則」改定後整備。新運営委員に上澤伸子さん選出。

* 陪席の下条裕章・李民洙両司祭より、貧困問題を考えるプロジェクト(案)提案書の説明を受け設置を了解。

▽「障関連」車いす講習会

教区フェスティバルで車いすの安全操作のために実技講習会。18日(土)14時、聖バルナバ教会。無料、先着30名。申込期限12日(日)。照会・申込1103(53

95)9128 障関連・鶴飼。